

第六十四回帝國議會
衆議院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速)第四回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)
昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)
朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月一日(水曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事木暮武太夫君 理事池田 敬八君

理事矢野庄太郎君 理事中川 觀秀君

鈴木 英雄君 堀江正三郎君

兼田 秀雄君 壽原英太郎君

武田德三郎君 加藤鏐五郎君

青田 勝晴君 森田 福市君

豐田 收君 高見 之通君

沖島 鏐三君 櫻井兵五郎君

前田房之助君 内藤 正剛君

一月三十一日委員田村實君及松本忠雄君辭任ニ付其ノ補闕シテ沖島鏐三君及鶴澤宇八君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

拓務書記官 杉田 芳郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

樺太廳長官 今村 武志君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、會議ニ付スベキ議案ノ中デ、造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案ト大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、是ハ大體ノ質問ヲ致シマシタガ、昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲、公債發行ニ關スル法律案ハ大藏大臣ノ御出席ヲ待ッテ質問シタイト云フコトデゴザイマスカラ、此三案ヲ除キマシテ、昨日本會議ニ付託ニナリマシタ朝鮮事業公債法中改正法律案ト、樺太事業公債法中改正法律案ヲ議題ニ供シタイト思ヒマス、後程拓務大臣ガ出席サレサウデアリマスカラ、拓務大臣ニ對スル質問ハ後ニ譲リマシテ、朝鮮ノ政務總監カラ一應御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

ス

○今井田政府委員 朝鮮ノ事業公債法案ノ改正ノ理由ヲ概要御説明申上ゲマス、現在ノ事業公債法ノ第一條デアリマスルガ、之ニ事業費ハ公債ニ依ッテ支辨スルコトガ出來ルト相成ッテ居リマスルガ、事業費ノ補助ニ要スル經費ヲ支辨スルコトハ、現行法ニ於キマシテハ出來ナイコトニナッテ居リマスルノデ、第一條中ニ「事業費」トアル下ニ「又ハ事業費補助ニ要スル經費」斯様ナ文句ヲ加ヘタイト云フコトガ改正ノ要點デアリマス、斯様ニ改正致サナケレバナラナイ理由ト致シマシテハ、最近ノ朝鮮ノ特別會計ハ、歳計ニ於キマシテ從來一般費デ支辨致シテ居リマシタ此事業費補助モ、公債財源ニ依ッテ支辨スル必要ガ起ッテ來タ、隨テ改正ニ依リマシテ此事業費補助モ、公債財源デ支辨スルヤウニシタイ、斯様ナ理由カラ改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、簡單デアリマスルガ、大體ノ理由ヲ申上ゲ

テ置キマス

○金光委員長 今村樺太長官カラ一應樺太事業公債法中改正法律案ニ付テ御説明ガ願ヒタイト存ジマス

○今村政府委員 樺太事業公債法中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、樺太事業公債法中ノ第一條ニアリマス「三千三百五十萬圓」ヲ「四千六百十萬圓」ニ改メタイト云フノデアリマス、此理由ト致シマシテハ樺太ニ於キマスル各種ノ拓務事業ニ付キマシテ、緊要差措キ難イ事業ガ多アルノデアリマスルガ、是等ノ事業費ヲ支辨スル上ニ於キマシテ、現在ノ樺太ノ經常歳入デハ支辨ガ出來マセヌノデ、從來アリマスル法定起債額ノ三千三百五十萬圓ヲ増額致シマシテ、是等ノ事業費ニ充當致シタイト存ジマシテ、此改正法律案ヲ提出致シタノデアリマス、其事業ニ於キマシテ、昭和八年度以降ニ於キマシテ電信電話ノ改良擴張費、道路ノ開鑿及改良費、國有林事業經營費、船瀬ノ修

築等ノ各種ノ計畫事業ガアリマスノデ、是等ニ對シテ八百七十萬圓程ノ經費ヲ要スルノデアリマス、此財源ハ只今申上ゲル通り、經常歲入デハ支辨ガ出來マセヌノデ、此事業公債法ヲ改正シテ、是等ノ經費ニ充當致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、ドウゾ此意味合ニ於キマシテ、何卒御審議ノ上御協賛ヲ願ヒタイト存ズル次第デアリマス

○金光委員長 兩案ニ對シテ質問ノ通告ガアリマス——高見君

○高見委員 私ハ拓務大臣ガ御出ニナッタラ伺ヒタイト思ッテ居リマシタガ、今政務總監ガ御出ニナッテ居リマスカラ、拓務大臣ガ御出ニナルマデ二ツ三ツ聞イテ置キタイコトガアリマス、特ニ今度朝鮮ノ事業費ノ補助ト云フ字ヲ御附ケニナル理由ハ、斯ウ云フモノマデ置カナクテハナラヌ理由ハドウデアルカ、此頃赤字公債ト云フモノガ非常ニ經濟界ニ不安ニ思ハレテ居ルノニ、特ニ事業費ノ補助マデ又公債ニ依ルト云フト、語呂ガ非常ニ惡イ、所デ豫算參考書ヲ見マスト云フト、教育費ノ補助ノ増加、恩賜救療施設ニ關スル補助、癩病補助ノ増加、地方土木費ノ補助ノ増加、棉作產金ト云フヤウニ、其金額モホンノ僅カ三四十萬圓シカナイ、事業費ノ方ノ増加ハ澤山アリマサル

ケレドモ、補助費ノ増加ト云フモノハ非常ニ金額ハ少イ、是ハ何カ他ノ方法デ經常費ノ中カラナリ又遺繰ガ出來ルグラウ、特ニ僅カノ此補助費ノ増加ト云フヤウナ項目マデ書イテオ造リニナルト云フコトハ、特殊ノ財政上ノ事實カ何カ特別ノ理由ニ依ッテオ造リニナルノデアルカ、一應一ツ聽イテ見タイト思ヒマス

○今井田政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルガ、實ハ大正十一年、震災前ニ於キマシテハ、此公債財源デ土木事業ノ大部分ヲ支辨致シテ居ッタ時代モアッタノデアリマス、大震災後ニ於キマシテハ、公債財源ヲ一般財源ニ組替ヘテ、一般財源デ各種ノ事業費ヲ支辨シテ來テ居リマシタ、所ガ最近ニ於キマシテ歲入ガ著シク減少致シマシタノデ、經費支辨ガ非常ニ困難ニナッタト云フヤウナ所カラ致シマシテ、昭和八年度ニ於キマシテハ、從來一般財源デ支辨シテ居リマシタ事業費モ公債財源ニ移シタモノモアリマス、併シソレハ現行ノ事業法ニ依ッテ事業費ヲ支辨ハ御承知ノ通り出來ルヤウニ相成ッタノデアリマスガ、又現在認メテ居リマス所ノ金額ノ範圍内デ計上出來マスカラ、其點ハ豫算ノ實質ハ變ッテ居リマスガ、法文ノ改正ハ要シナイノデアリマ

ス、然ルニ事業費ノ補助ニ付テハ從來ノ法律、即チ現行法ハ支辨スルコトヲ認メテ居リマセヌノデ、事業費補助ト云フコトモ法文ノ中ニ加ヘタイ、要スルニ從來一般財源デ支辨シテ居ッタ事業費或ハ補助ト云フモノガ、一般財源デ支辨スルコトガ出來ナイト云フノデ、已ムヲ得ズ公債財源デ支辨シタイト云フノデ、教育費補助ヲ加ヘタノデアリマス、只今學校補助其他ニ付テ御質問ガアリマシタガ、事業費補助ヲ特ニ加ヘマシタ理由ハ、主トシテ土地改良助成費デアリマス、土地改良助成費ハ八年度豫算額ガ四百六十六萬餘圓ニ相成ッテ居リマス、其中四百六十六萬餘圓ニ相成ッテ居リマス、其中此土地改良助成費ハ從來ハ總テ一般財源デ支辨シテ居リマシタガ、今度ハ此中ノ一部分ヲ一般財源デ支辨スル從來ノ法律ヲ改正シタイ、昭和八年度ハ四百六十六萬餘圓ニナッテ居リマスガ、其中デ普通財源デ支辨シテ居ル三百七十七萬餘圓ヲ差引キ、八十九萬餘圓ヲ公債財源デ支辨シタイ、是ガ主タル理由トナッテ此改正案ヲ出シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○高見委員 モウ一ツ聽イテ置キタイコトハ、產金獎勵補助ノ増加ガ六萬圓見テアルガ、最近北海道方面デモ金ガ非常ニ澤山採レルガ、其金ノ採掘事業ヲシテ居ル人ハ小

サイ鑛業者デアアル、隨テ精煉等ニ於テ事業費ガナイカラト云フノデ、共同精煉所ヲ造ル方ガ宜イト云フコトデ、昨年ノ臨時議會等ニ於テモサウ云フヤウナ建議案ガアッタリ或ハ請願ガアッタリシテ居ル、最近一層產金熱ガ盛ニナッテ居ルガ、大體產金獎勵費ハ幾何アルノカ、朝鮮ノ產金ノ狀態ハドウカ、場合ニ依レバモウ少シオ殖シニナッタラドウカ、其邊ノ狀況ヲ一ツ聽カセテ貰ヒタイ、是ハアナタノ方ト全ク無關係デアリマスガ、若シ材料ヲ有ッテオ出デニナルナラバ、滿洲方面デモ最近非常ニ產金熱ガ盛ニナッテ居リマスガ、是ハ別ニ質問デハアリマセヌガ、サウ云フモノニ對スル研究モ或ハ出來テ居ルカモ知レヌカラ、若シモ出來ルナラバ關聯シテ併セテ御説明ガ得ラレ、バ幸ヒデアリマス

○今井田政府委員 御答致シマスルガ、產金額ハ此數年來年々増加致シテ居リマス、昭和五年度ノ正確ナ數字ハ今持合セテ居リマセヌガ、約八百萬圓程度デアリマス、ソレカラ昭和六年度ニ於キマシテハ一千萬圓——一千萬圓ガ數萬圓缺ケマスルガ、兎ニ角一千萬圓ニ増加致シテ居リマス、昭和七年度ノ數字ハマダ分リマセヌ、是ハ大體一月ニ報告ガ出マシテ、之ヲ集計シテ勘定スル

コトニ相成ッテ居リマス、大體九月頃迄ノ實
蹟カラ推算致シマシテ、千五百萬圓位ハ七
年度ニアルノデハナイカ、斯様ナ狀況カラ
推シマシテ、昭和八年度、是ハ豫測ハ出來
マセヌガ、凡ソ二千萬圓見當ノ産金ガアル
ノデハナイカト想像致シテ居リマス、斯様
ニ産金額ハ年々非常ナ率ヲ以テ増加致シテ
居ルノデアリマス、ソレカラ産金ノ獎勵ニ
付キマシテハ、其獎勵スル理由ハ固ヨリ申
上ゲル迄モナク御存ジノコトト思ヒマスカ
ラ省略致シマスルガ、朝鮮ト致シマシテハ、
各地方ニ或ハ鑛石トシテ、或ハ砂金トシテ、
金ノ産出ガアリマスルノデ、出來ルダケ之
ヲ獎勵スルト云フコトハ、國策ト致シマシ
テモ亦朝鮮ノ産業開發ト致シマシテモ、最
モ緊密ナ事例デアリマスノデ、前年度來即
チ七年度カラ獎勵ノ方法ヲ執ッテ居リマス、
七年度ニ於キマシテハ約二十萬圓ノ經費ヲ
支出致シマシテ、主トシテ炭鑛ノ補助デア
リマス、即チ鑛山ニ於ケル鑛石ノ分布、分
量、品位ト云フヤウナモノヲ調査致シマシ
テ、砂金ニ於テモ同様デアリマスガ、此炭鑛
費ノ補助トシテ約二十萬圓ヲ計上致シマシ
テ、昨年ノ臨時議會ニ出シタノデアリマス
ルガ、其後ニ於キマシテ著々トシテ補助ノ
指令ヲ出シテ居ルノデアリマス、サウシテ

今日實行シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、
昭和八年度ニ於キマシテハ、只今申シマシ
タ炭鑛補助ノ約二十萬圓ノ外、新ニ六萬圓
ヲ計上致シテ居リマス、是ハ主トシテ精鍊
ノ補助ト云フ方ニ向ケタイ、斯様ナ考ヲ有ッ
テ居ルノデアリマス、精鍊ノ補助ニ付キマ
シテモ色々ナ方法ガアルノデアリマシテ、
朝鮮ニハ鎮南浦ニ大キナ精鍊所ガアリマス
ルガ、其處ノ精鍊費ノ補助ト云フ方法モア
リマスルシ、又各地方々々ニ小規模ノ精鍊
所ヲ設置致シマシテ、ソレニ補助スルト云
フ方法モアルノデアリマスガ、現在ノ實情
カラ考ヘマシテ、成ベク低品位ノ鑛石モ之
ヲ捨テナイデ精鍊シテ金ヲ採ルト云フ方面
ニ向ケタガ宜カラウ、ソレガ現在ノ狀況カ
ラシマシテモ低品位ノ鑛石ヲ運ブ運賃ニ補
助スルト云フコトガ一番手ッ取り早ク效果
ガアルノデハナイカ、其六萬圓ト云フモノ
ハ主トシテ低品位ノ鑛石ヲ運ブ運賃ノ一部
ニ補助スル、斯様ナコトニ考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ參考資料ト云フ御話ガ
アリマシタガ、色々ナ統計數字ヲ調査シタ
モノモアルノデアリマスルガ、是ハ無論出
來ルダケ差上ゲマスルガ、其中デモ取分ケ
テドウ云フ風ナ項目ガ御必要カト云フコト
ガ分リマスレバ、其點ニ付キマシテ特ニ取

調ベテ差出シタイト思フノデアリマス
○高見委員 參考ト云フコトハ、産金ニ關
聯シテ滿洲方面ニモ最近非常ニ産金ニ關ス
ル調査ガ出來テ居ルヤウナ風デアリマスカ
ラシテ、御注文シテ質問スベキ筋デハナイ
ケレドモ、之ニ關聯シタ調査ガアッタナラ
バ貫ヒタイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、
モウ一ツハ二千萬圓ノ金ガ出ルト云フガ、
金ノ單價ハ五圓デナクシテ今日ノ市價デ二
千萬圓ト仰シヤルノデスカ
○今井田政府委員 八年度ニ二千萬圓ト申
シマシタノハ、七年度ノ方モサウデアリマ
スルガ、一匁五圓ノ平常ノ際ニ於ケル單價
ノ五割増位デ計算シテ居リマス、隨デ一匁
七圓五十錢ト推算シテ二千萬圓ト申上ゲタ
ノデアリマス、ソレカラ滿洲方面ノ産金資
源其他ニ付キマシテノ調査ハ私共ノ方ニハ
ナイト考ヘマスルガ、朝鮮ニ於ケル産金其
他ニ付テノ印刷物ガアリマスカラ、ソレヲ
差上ゲタイト考ヘマス
○高見委員 モウ一ツ今ノ産金ノ問題ニ付
テ聽イテ置キタイ、北海道ノ野付牛附近ニ
大變澤山産金ガアル、大キナ事業家ハ差支
ナイケレドモ、小サイ事業家ハ兎ニ角サウ
云フ大キイ精鍊所ヘ持ッテ行ク爲ニ損ヲス
ルカラ、共同精鍊所ヲ造ッタ宜カラウト

云フ論ガ盛ニ出タノデアリマス、ソレニハ
幾ラ金ガ要ルカト云フト、一箇所十五萬圓
出スト云フト、非常ニ好イ金ノ精鍊所ガ出
來ル、何ト言ッテモ此分析ナドト云フモノ
ハ、此歩合ナドノ——歩留ナドハ色々ニト
ラレルカラ、鑛山ノ持主ニ不利益デアルカ
ラ、公ノ精鍊所ヲ造ッタ宜カラウト云フ意
見ガ盛ニ出テ居ルノデアリマシテ、北海道
ノ人達ガ非常ニ熱心ニ主張サレテ居ル、如
何デスカ、今ノ御話デ能ク分リマシタガ、低
品位ノ鑛石ノ運搬ノ爲ニ運搬費ヲ補助スル
ナドハ非常ニ宜イ事ダト思フ、非常ニ宜イ
事デアッテ趣意ニハ賛成デアルガ、モウ一步
進ンデ北海道方面ニ精鍊所ヲ設ケルトカ、
安イ精鍊所ヲ適當ナ處ニ置クト云フヤウ
ナ、モウ少シ進ンダ産金獎勵ノ御計畫ト云
フヤウナモノモ御考ヘニナッタコトハナイ
カ、若モ御ヤリニナルナラバ、急イデ、或
ハ追加豫算モアリマスガ、サウ云フ御考ハ
ナイカドウカト云フコトヲモウ一ツ伺ヒタ
イ
○今井田政府委員 御答致シマスルガ、此
産金ノ獎勵ニ付キマシテハ、全ク御説ノ通
リニ、國立精鍊所ヲ設ケルノ必要ガアルノ
デアリマス、ソレデ私共ノ方トシマシテモ、
國立精鍊所ヲ設ケルコト、或ハ地方々々ノ

鑛山ノ多ク散在シテ居ル方面ノ中心地ニ、小規模ノ精煉所ヲ設ケマシテ、是ハ會社ヲ設ケルノデアリマスガ、ソレニ對シテ或ル程度ノ補助ヲスル、斯様ナ色々ノ方法ガ考ヘラレルノデアリマス、其中デモ一般民間ノ鑛山業者ハ國立精煉所ヲ設ケト云フ聲ガ相當ニアルノデアリマス、十分調査シテ居ルノデアリマスルガ、朝鮮ノ現狀ト致シマシテハ、現ニアリマスル精煉所ガ——現ニ精煉所ノ餘力ガ十分ニアルノデアリマス、其餘力ヲ何カノ方法ニ依リマシテ十分ニ使フト云フコトガ、先ヅ差向キ經濟的デハナイカ、斯様ニ考ヘマシタガ爲ニ、今日ニ於キマシテハ此精煉所ニ運ブ所ノ運賃ヲ補助スルト云フコトニナツテ居リマス、併シ將來尙ホ一層各地ニ金鑛ガ發見サレ、精煉所ヲ必要トスルト云フコトニナリマスレバ、適當ナ方法ニ依リマシテ精煉所ヲ設ケル、或ハ其地方ニ民間ノ精煉所ヲ設ケテ之ニ補助スルト云フヤウナ、何等カノ方法ヲ執ルノガ必要デヤナカラウカト考ヘテ居リマス、併シ明年度トシマシテハ、現ニヤツテ居リマス方法ヲ實行シマシテ、其實績ヲ見タ上デ更ニ考慮シテ、精煉所ヲ設ケルナリ何カヲ考ヘテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○櫻井委員 議事進行ニ付テ——朝鮮ノ事業費補助ニ關スル問題デアリマスルガ、私

少シ遅レテ來マシタ爲ニ御説明ヲ伺ハナカッタノデアリマスケレドモ、ドウ云フモノニ補助ヲスルカト云フ、其内容ダケデモ、材料ヲ御持チニナツテ居ッタ材料ヲ拜見シタイ

○今井田政府委員 只今ノ材料ノ御話ハ、

此公債事業法案ノ改正ニ依リマシテ、補助ト云フモノガ加ハルノデアリマスガ、其加ッタ其補助ダケデ宜シウゴザイマスカ、一般ノ補助金ヲ交付スルモノガ澤山アリマスルガ、ドウ云フ意味デアリマスカ、是ダケナラ極ク簡單デアリマス、先程モ御説明申上ゲタノデアリマスガ、土地改良助成費ノ一部ヲ公債財源デ支辨シタイト云フ爲ニ改正ヲ致シタノデアリマス、差向キノモノトシマシテハ是ダケデアリマス

○森田委員 高見君ノ質問ニ關聯シテ、今

ノ産金ノ額ニ付テノ御話ガアッタノニ、昭和八年ト七年ノ千五百萬圓乃至二千萬圓ハ七圓五十錢デ計算シタト仰シタルノデアリマスガ、サウスルト五年ト六年トハ幾ラニ依ッテ計算シタカ、ソレヲ承リタイ

○今井田政府委員 五年ト六年ハ總テ一匁

五圓ト云フ計算ニナツテ居リマス、七年ハチ

ヨット記憶ガアリマセヌガ、八年度ハ慥カ普通ノ單價ヨリモ五割増即チ七圓五十錢ト云フコトニナツテ居リマス、七年度ニ付テハチヨット忘レマシタガ後程調べテ申上ゲマス、

○森田委員 御調ヲ願フテ若シ是ガ——私

一寸氣ガ付イタノデアリマスルガ、六年度ガ五圓ノ割合デ一千萬圓ノ産金デアッタモノガ、七年度ガ若シ七圓五十錢デ一千五百萬圓ノ産金デアラナラバ、目方デハ同一ノ目方シカ産金シテ居ラヌコトニナルノデアリマスガ、サウスルト補助ヲ與ヘルノニハ、一體目方ニ依ッテ從來補助ヲ與ヘテ居ルノ力、又ハ産金額ノ賣上價格ニ依ッテ御與ヘニナルノデアリマスカ、將來ハドウ云フ風ニサレマスカ、ソコヲ承リタイ

○今井田政府委員 補助ハ先程モ申上ゲマ

スル通り、現在實行シテ居リマスルノハ炭鑛ノ補助ナンデス、鑿穿機ヲ使用シテ岩石ヲ掘碎イテ調査ヲスル、ソレヲ一尺掘ルニ付キマシテ、堅坑ナラ幾ラ、横坑ナラ幾ラ、砂金ノ「ボーリング」ナラ幾ラト云フヤウニ、調査費ノ補助ヲ致シテ居ルノデアリマス、産金額ト云フヤウナモノ、標準デ補助ヲシテ居ルノデハナイノデアリマス、將來モ産金額ト云フモノデナクシテ、或ル數量ノ鑛石ヲ精煉地ニ運ブモノニ對スル運賃ニ

補助ヲシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○森田委員 金ノ含シテ居ル鑛石ヲ運搬ス

ル、其運搬費ノ補助デアルト云フコトデアラナラバ分ルガ、今ノ御話ダト云フト、鑿穿機ヲ備付ケテ、堅坑、横坑ヲ一尺掘レバ幾ラト云フヤウニ與ヘルト、金ガ出デモ金ガ出ヌデモト仰シタルノデスカ

○今井田政府委員 極端ニ申スト左様ナコ

トニナルノデアリマスガ、此補助金ヲ交付スルト云フコトヲ決定スルニ付キマシテハ、從來總督府ニ於キマシテハ、一應調査シテ、有望ナ鑛山ガアル、有望ナル産金鑛山ガアルト云フ一應ノ調査ノ付イテ居ル處デアリマシテ、而モ鑛業權ヲ有ッテ居ル者ガ現ニ其附近ニ居ッテ實際ノ作業ニ從事シテ居リ、産金ガ確實ダラウト云フ大體ノ見込ノ付イテ居ルモノニ對シテ補助ヲスル、其結果出ナイ場合モアリマセウガ、大體ニ於テ有望ト認メル處デナケレバイケナイ

○森田委員 ソレデハモウ一ツ同ジ補助ノ

コトニ付テ政務總監ニ御尋シテ見タイノデスガ、御承知ノ朝鮮カラ内地ニ來テ居ル労働者ハ、非常ニ今日失業者ヲ救済スル事業ニ從事シテ居ル、土木事業ナドハ労働者ハ殆ド朝鮮人ナノデアリマスガ、朝鮮人ガ日本ニ斯様ニ澤山來ナケレバナナイヤウニナツタ

原因ハ幾多モアリマセウ、併ナガラ朝鮮ハ今非常ニ水田ヲ獎勵サレテ、大變ナ獎勵ノ補助費ヲ交付シテ水田ガ増シテ來タノニモ拘ラズ、ソレヲ耕作スル者ガ減ッテ行カナケレバナライヤウニナッタノハ、ソコニ爲政者トシテノヤリ方ガ——寧ロ田地ガ殖エテ行ケバ勞働者ハ多ク要ル筈デアリマサガ、田地ガ殖エテ行キナガラ勞働者ガ要ラナクナルノハ、機械化シタトカ、或ハ色々技術上ノ進歩發達ニ依ルノデアリマセウガ、兎ニ朝鮮ニ補助マデ與ヘテ、水田ガ澤山出來テ、米ガ澤山出來ルヤウニナッタ結果、日本ヘ大變移入シテ來テ、日本ノ農民ハ是ガ爲ニ困ッタノミナラズ、朝鮮ニ水田ガ澤山出來タニモ拘ラズ、勞働者ガ要ラナクナッテ、勞働者ガ内地ニ澤山入ッテ來ルト云フヤウナコトハ、何カ政策的ニ私ハ良イ方法ガアルノデハナイカト思フノデアリマサガ、朝鮮總督府ノ御當局ハ之ニ關シテ何カ御研究ニナッタコトガアリマセウカ、アレバドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルカ、全然御考ヘニナッテ居ラヌカ、先ヅソレヲ先ニ伺ッテ置カナケレバナラヌ

○今井田政府委員 朝鮮人ガ内地ニ渡航シテ來ルト云フコトハ是ハ交通ガ開ケ、其間ノ連絡ガ密接ニナルニ從ッテ自ラサウ云フ

コトニナルコト、考ヘルノデアリマス、其他經濟上ノ理由モ多クアリマスルガ、殊更ニ之ヲ阻止スルト云フヤウナ考ハ勿論有ッテ居リマセヌ、併ナガラ内地ノ勞働市場モ相當ニ失業狀態ヲ呈シテ居ル、又朝鮮人トシマシテモ内地ニ參リマシテモ職ヲ得ラレナイ、サウ云フヤウナコトカラ致シマシテ事情ヲ明ニシテ成ベク内地ニ來ナイヤウニスルコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ是ハ政策的ノ方法トシマシテハ、成ベク朝鮮内ニ於テ、朝鮮ノ北方又ハ滿洲方面ニ於キマシテ、朝鮮人ガ發展スルヤウニシタイト云フコトヲ始終考ヘテ居ルノデアリマス、最近ニ北朝鮮開拓ノ事業ヲ開始致シマシタノモ其一ツノ手段デアリマス、又將來滿洲ノ治安ガ十分ニ維持ガ出來、又現在ノ避難民ガ多數鐵道沿線ニ避難シテ居ルト云フ狀況デアリマスガ、斯様ナ避難民ガ落著クト云フ曉ニ於キマシテハ、朝鮮人モ相當ニ向フニ出テ行ク、又之ヲ獎勵致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、只今御話ノ土地ノ改良ヲ致シ、水田ノ耕地面積ガ増加シタニ拘ラズ、尙且ツ多クノ人ガ内地ニ渡ッテ來ルデハナイカト云フ御話デアッタノデアリマサガ、實ハ朝鮮ト致シマシテハ南方ト北ノ

方ノ部分トハ非常ニ事情ヲ異ニ致シテ居リマス、北ノ方ハ面積モ相當餘裕ガアリマス、一戸當リノ耕地面積ガ相當廣イノデアリマサガ、内地ニ接近シテ居リマス南ノ方ハ耕地面積ガ非常ニ少ナイノデアリマス、一戸當リノ耕地面積ガ内地ヨリモ水田トシマシテハ、少ナイヤウナ狀況ナノデアリマス、隨テ小作權ノ如キモ朝鮮デハ、小作權ヲ得ルコトニ對シテハ非常ニ競争シテ居ルト云フヤウナ狀況デ、土地ハ得ラレナイ、得ラレナイ爲ニ何等カノ方法ヲ執ラナケレバナラヌト云フ、斯様ナ事情モアリマスル爲ニ、段々ト水田ハ殖エテ參ッテハ居リマスルガ、人口ノ増加、或ハ人口ノ分布ニ適應シナイ爲ニ、サウ云フ事情モアラウカト考ヘルノデアリマス、又耕地面積ノ増加ニ伴ヒマシテ、幾分カ其方面ニ人口ハ分布サレ吸収サレテ居ルノデアリマスケレドモ、尙ホ人口ノ増加等ニ對シテ之ヲ容レルダケノ十分ノ土地ノ面積ト云フモノハ無イノデアリマスカラ、土地改良事業ニ於テ朝鮮人ノ内地渡來ヲ阻止スルダケノ效果ハ今日舉ッテ居ラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森田委員 モウ一ツ御伺スルノデアリマサガ、今ノ朝鮮ノ水田ヲ開拓シテ行ッテモ尙且ツ勞働者ガ内地ニ入ッテ來ルノヲ阻止ス

ルダケノ效果ガナイト云フノハ、サウデナクテ、斯ウデハナイカト思フノデアリマス、朝鮮ノ土地ヲ開拓シテ行ク者ハ、私ハ大地主ガ固ッテ居ッテ、所謂自作農ヲ獎勵サレヌカラサウ云フヤウナ結果ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、御承知ノ如ク朝鮮デハ五百町歩トカ千町歩トカト云フ土地ヲ一人ノ内地ノ人ガ持ッテ居ルノガ、澤山片々端シカラノヤウニ私ハ承知致シテ居リマサガ、之ヲ内地デヤッテ居ルヤウニ自作農ヲ獎勵シテ行クコトニ依ッテ、朝鮮人ノ勞働者ヲ内地ニ寄越スコトヲ阻止スル、又ソレガ朝鮮自ラノ爲ニモ宜イデハナイカ、所謂自作農ヲ獎勵、今ノ水田開拓ノ補助ト云フヤウナモノヲ大キナ地主ニスルヨリモ、自作農ヲ獎勵スル方面ニ向ッテ其補助費ヲ利用ニナッタ方ガ、朝鮮ノ爲メ、即チ國家ノ爲メ宜イデハナイカ、日本ノ内地ノ失業者ノ救済費ノ大部分ハ土木事業デアッテ、其土木事業ノ勞働者ハ殆ド朝鮮人デアルト云フコトニナルト、大變ナ金ヲ使ッテ内地ニ渡ッテ朝鮮人ヲ救済シ、アチラノ者ハアチラノ水田ノ開拓ノ補助トカ何トカ云フコトデ救済スルト云フコトニナル、一體私ハ斯様ニ公債マデ起シテ、補助費ニ充テ、ヤルト云フコトハ、是ハ拓務大臣ニ中上ゲル積リデアリ

マスガ、事業費ノ補助ト云フモノハ公債ニ依ッテ、即チ借金ニ依ッテヤルベキデハナイ、國家ノ財政ノ將來ヲ考ヘルナラバ、サウ云フ補助費ハ所謂正當ナ産業ニ依ッテ、所謂收益税デアルトカ、所得税デアルトカ云フヤウナ收入ニ依ッテ補助ヲ與ヘルコトガ宜シイノデ、借金ヲシテマデ獎勵スルト云フコトハドンナモノデアラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ只今マデ私ガ申上ゲタ朝鮮内地ノ水田ノ開拓ニ對スル補助費ノ使用方ヲ考慮シテ、サウシテ自作農ヲ將來獎勵サレ、勞働者ガ其土地ニ居著イテ、サウシテ五段、六段、一町歩ヲ持ッテ作ッテ行ケバ食フニハ困ラスノデアリマス、無暗ニ一人ガ廣イ面積ヲ持ツト云フコトデナク、自分デ小サイ土地ヲ持ッテ、ソレニ依ッテ生活スルト云フコトニ重キヲ置イテ行ッタナラバ、其方ガ寧ロ勞働者ヲ多數收容スルコトガ出來テ宜イデハナイカ、自作農ノ獎勵ト云フコトニ付テハマダ御考ヘニナッタコトガアリマセヌカドウデアリマスカ、御伺致シマス

○今井田政府委員 此土地改良事業ニ付テハ、相當ニ人口稠密ノ地方カラ、其改良シマシタ地方ニ移シテ居リマス、現ニ大規模ノ開拓或ハ開墾事業ヲシテ居ル土地ニ於キ

マシテハ、人口稠密ノ地方カラ人口ヲ移動シテ、其處ヘ定住サセテ、小作ニ從事致サセテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、土地改良事業ガ人口ノ分布或ハ内地渡航者ヲ減少スル原因ヲ成シテ居ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ自作農ニ付キマシテノ御説ハ洵ニ御尤デアリマシテ、實ハ其點ニ付キマシテハ豫テ考慮致シマシテ、昭和七年度カラ多少ノ補助費ヲ計上致シマシテ、自作農ノ創定ニ從事致シテ居リマス、勿論規模ハ極ク小サイノデアリマスルガ、朝鮮ニ自作農ヲ創設スルニ付キマシテハ、先ヅ初メハ其成績ヲ確實ニ舉ゲタイ、其成績ヲ見テ漸次擴大シテ行キタイト云フコトデ、極ク小規模デハアリマスガ、七年度カラ自作農創設ニ補助ヲ與ヘ獎勵ヲ致シテ居リマス、八年度ニ於キマシテモ勿論引續イテ之ヲ實行スル考ヲ有ッテ居リマス

○森田委員 チョット參考ニ地主及小作等ノモノ、表ガアリマスレバ一ツ御出シ願ヒタイト思ヒマス

○武田委員 産金ニ關シタ事デ一寸簡單ナコトヲ……

○金光委員長 此次ニシタラドウデスカ、拓務大臣ガ出タ時ノ方ガ宜クハナイデスカ
○前田委員 一寸參考資料ヲ要求シタイヘ

デス、朝鮮土地改良事業ノ過去三箇年ノ實績ト、將來三箇年ノ豫想表ヲ一ツ示シテ貰ヒタイノデスガ、ソレハ成ベク詳細ニ、例ヘバ米價ハ何ボラ單位ニシテノ計算デアルカ、勞銀ハ何ボラ單位ニシテ居ルカ、出來ルダケ詳細ニ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○金光委員長 マダ質問ノ御通告ガ澤山ゴザイマスガ、拓務大臣ハ只今貴族院ノ追加豫算委員會ニ出席シテ、一寸外シ難イサウデアリマスカラ、質問ハ次會ニ譲ルコトニ致シマシテ、本日ハ此程度ニ止メタイト思ヒマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知申シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時四十分散會